



ご当地 太坊さん 茨城

# 茨 歯 会 報

No.663

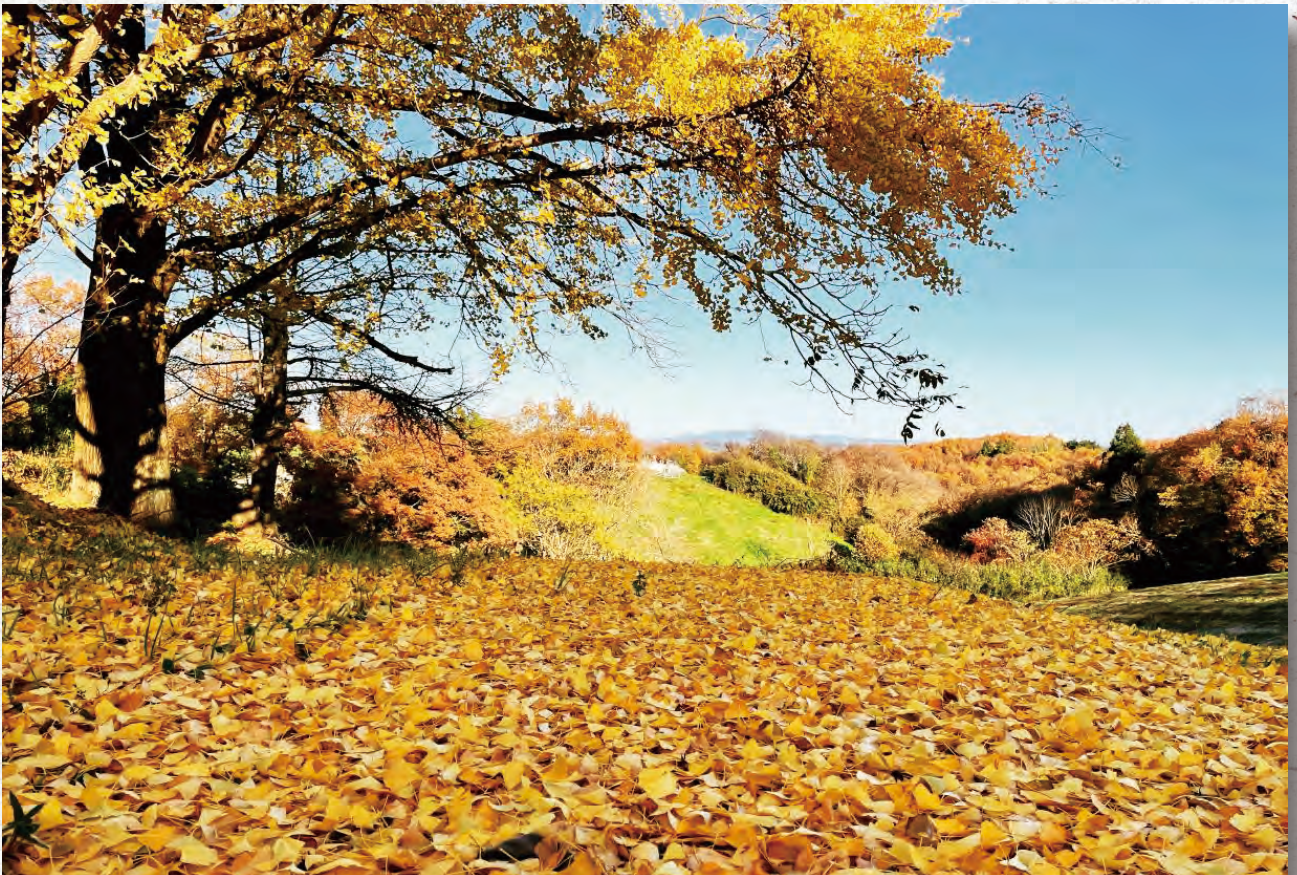
茨城県歯科医師会  
Ibaraki Dental Association

December

2024

令和6年

12



## Contents

デンタルアイ	1
海老原 一芳	
理事会報告	4
会務日誌	5
地域保険委員会だより	8
専門学校だより	20
地区歯科医師会だより	21

### 表紙写真について

常陸大宮市鷹巣地区の銀杏

(社) 珂北歯科医師会 阿部 英一

## キャッシュレス決済導入の一例



理事  
海老原 一 芳

皆様は患者様が会計時に「お金が足りないの  
で銀行でおろしてくる」とか「クレジットカード  
使えませんか」など言われたことがないで  
しょうか。

今年の3月になりますが、「普段、何らか  
のキャッシュレスを利用している人の割合は  
94%。クレジットカード保有率87%、利用率  
82%といずれも高水準を維持。コード決済・電  
子マネー・デビットカードも前年比で増加」と  
いう話がJCBのキャッシュレスに関する総合調  
査の結果として発表されました。

また、その約半年前、令和5年9月29日付  
けで厚生労働省保険局医療課から以下のような  
「事務連絡」も届きました。

### 医療機関等における

#### 一部負担金のキャッシュレス支払いについて

医療機関等における一部負担金のキャッシ  
ュレス支払いについて、今般、下記のとおり、周  
知いたしますので、その取扱いに遺漏のないよ  
うお願いいたします。

#### 記

医療機関等における一部負担金の支払いにお  
いて、現金と同様の支払い機能を持つクレジッ  
トカードや、一定の汎用性のある電子マネー

(※)による支払い(以下「キャッシュレス支  
払い」という)を利用することは、患者の利便  
性向上、医療機関等における事務の効率化の観  
点から差し支えありません。

※交通系電子マネー等のタッチ式決済、QR  
コード決済・バーコード決済等をいいます。

今回は、すでに導入済みの先生方が多いかと  
は思いますが、キャッシュレス決済をまだ導入  
されていない先生方にキャッシュレス決済の導  
入について自分なりの考えを書いていきたいと  
思います。

まず、いろいろ条件はありますが、導入する  
にあたって最初に「決済端末」についてです。

「決済端末」カードなどを読み込む機械です  
が、重要なところは

#### 1) 入金サイクル

・売上金の締日と入金までの期間(例:月1  
回振込、週1回振込等)。

#### 2) 決済端末

・レシートプリンター内蔵かどうか、充電の  
時間など。

#### 3) 費用

・決済手数料、振込手数料、初期費用、月額

費用、決済端末、POS費用。

#### 4) 決済の種類

- ・クレカ決済、電子マネー決済など。利用率は圧倒的にクレカが多いです。

#### 5) 導入スピード

- ・サービスによっては数営業日から、長いものだと1~2ヶ月利用開始までかかることもあります。

#### 6) 決済以外に提携しているサービス

- ・無料POSレジ（現金決済）、従業員管理、オンラインサイト等の無料提供。

#### 7) 会計ソフトなどとの連携

- ・日計を含め仕分けデータ（売掛金、現金売上等）の会計ソフトとの連携。

この中で、いろいろな業者の比較をするときに特に注意するのが「費用」についての考え方です。

決済手数料は会社によって1%以上前後することがありますが、ハードに関して、決済端末+POSレジ+レシートプリンターの金額がいくらになるか。

それとは別で、決済手数料+月額費用+振込手数料がいくらになるか、これらを合わせて考えないと意外とお金がかかることがあります。

ハードに関しては、パンフレットなどに「無料」などと書かれていることが多いので、そのあたりを確認してください。

決済手数料もパンフレットなどの「どのカードが何%」とかの表が掲載されていたりします。

月額費用、振込手数料これらが会社によって大きく異なりますし注意が必要なところです。月額費用は、決済手数料とは別で事務的なことにかかる費用です。無料なところ、毎月3,000円程度固定でかかるところ、カード利用の程度で金額が変わるところといろいろです。振込手数料はカー

ドの決済金額が振り込まれるときにかかる金額です。振込回数が多ければ意外と馬鹿になりません。振込金額も無料のものから様々あります。

会計ソフトとの連携は、単純に数字のみテキストファイルで出してくるものから、特定の会計ソフト対応のデータを出してくれるものまであります。当然現金売上のデータまでを日計としてデータ出力してもらえると会計ソフトへの手入力がいらないので大変助かりますが、税理士さんなどに処理してもらえる分にはテキストデータが取れば十分かもしれません。

それに対してレセコンとの連携についてはさほど重要ではないと思います。診療時の金額の入力の手間だけですので、手入力の方が融通が利きます。レセコンと連携できてもその費用、レセコン側で月何万円というレセコンもありますので注意が必要です。

自動釣銭機などと連携するものもあります。自動釣銭機はコンビニなどにも広く普及して大変良いとは思いますが、毎月の保守料金が意外と高額のものが多いです。また、今回のように紙幣のデザインが変わるときなどに追加費用が発生することがあります。

どこにも書かれていませんが、どこの決済端末でも発生するのがサーバー側でのトラブルです。サーバーが止まってしまってキャッシュレス決済が使用できません。自分のところで導入したものは今までの1年半程度で2回、それぞれ半日程度決済ができませんでした。他の会社でも程度の差はありますが稀にあるようです。その際は現金決済のみになります。

色々書かせていただきましたが、自分の歯科医院のシステムを一つの導入例として書かせていただきます。なお、領収書はレセコンから出るものを使用しています。

**Square POSレジ (無料)****Squareターミナル (決済端末。買い取り、使用料無料)**

毎週金曜日入金、振込手数料無料、月額費用無料。

日計データについてはクラウド会計ソフト「freee会計」と自動連携 (月額1,000円程度)。「freee会計」から「弥生会計」用にデー

タ変換して取り込みます。

自分の歯科医院では毎月の決済手数料は2,000円程度、会計ソフトと合わせて経費は3,000円程度になります。

以上、キャッシュレス決済導入に関して私個人の一つの見方として書かせていただきました。キャッシュレス決済導入に関しましての一助となれば幸いです。

## 事業所案内

宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷1504-4	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11 1F	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市磯子区中原2-1-19 1F	TEL:045-770-4182
前橋支店	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡上堂支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
盛岡本宮支店	盛岡市本宮6-24-43 1F	TEL:019-635-7750
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770
つくば営業所	つくば市花室940-6	TEL:029-863-0720
仙台支店	仙台市若林区荒井5-7-6	TEL:022-794-7066

株式会社 岩瀬歯科商会  
iwase HENRY SCHEIN®

株式会社 ウチャマ  
HENRY SCHEIN®

HENRY SCHEIN®  
JoEast  
ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社

株式会社岩瀬歯科商会と株式会社ウチャマはヘンリーシャインジャパンイースト株式会社に社名変更いたしました

改めまして、私たちはヘンリーシャインジャパンイーストです！

We try best! -for healthy and white teeth-

# 理事会報告

## 第7回理事会

日 時 令和6年10月17日（木）午後4時

場 所 茨城県歯科医師会館 役員室

報告者 柴岡永子

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 監査報告
4. 連盟報告
5. 報 告

(1) 一般会務報告

- (3) 開業予定の歯科医院について  
(4) 次期代議員の員数について  
(5) 第74回茨城県社会福祉大会の後援依頼について

(6) 各委員会報告について  
厚生委員会、広報委員会、地域保健委員会、社会保険委員会、専門学校

(7) その他

## 6. 協議事項

(1) 入会申込みの受理について  
久保田恭生先生 珂北地区 奥羽大歯卒  
1種 承認

(2) 会員の会費免除について  
承認

(3) 令和7年度事業計画（案）及び事業予算（案）の提出について

承認

(4) 茨城県歯科医師会代議員数に関する細則の改正について

承認

(5) 令和6年度茨城県保健医療部長への要望書について

承認

(6) 地区歯科保健啓発事業への事業費補助について〔日立歯科医師会〕

承認

(7) 令和6年度運営補助金の申請について【茨城県歯科衛生士会】

承認

(8) 令和7年新年会の開催について

承認

(9) その他

## 【今後の行事予定について】

11月10日（日）

13時30分から 第30回茨城県民歯科保健大会

11月21日（木）

16時から 第8回理事会

12月19日（木）

16時から 第9回理事会

18時30分から 役員等忘年会（水戸京成ホテル）

# 会務日誌

- 10月17日 第88回全国学校歯科保健研究大会が長崎市「出島メッセ長崎」にて開催された。メインテーマを「『健口』から『健康』へ つなげる学校歯科保健の未来図」として、表彰式、特別講演、ポスター発表、シンポジウムが行われた。
- 出席者 柴崎理事ほか1名
- 10月17日 第2回業務・会計監査を執行。業務（4月1日～8月31日）、会計（令和6年度現況）について監査を実施した。
- 出席者 飯塚監事ほか5名
- 10月17日 第7回広報委員会を開催。会報11月号の校正・編集作業、レディースコーナーの現時点での進捗状況の説明、干支寄稿、歯科医学会の取材について協議を行った。
- 出席者 柴岡広報部長ほか6名
- 10月17日 第7回理事会を開催。入会申込みの受理、会員の会費免除、令和7年度事業計画（案）及び事業予算（案）の提出、茨城県歯科医師会代議員数に関する細則の改正、令和6年度茨城県保健医療部長への要望書、地区歯科保健啓発事業への事業費補助〔日立歯科医師会〕、令和6年度運営補助金の申請、令和7年度新年会の開催について協議を行った。
- 出席者 榊会長ほか13名
- 10月17日 第4回厚生委員会を開催。第45回茨城県歯科医師地区対抗親善ゴルフ大会、次年度からのソフトボール大会の運営について協議を行った。
- 出席者 谷口厚生部長ほか8名
- 10月21日 労働保険事務組合事務担当者研修会がホテルレイクビュー水戸にて開催された。
- 出席者 事務局2名
- 10月22日 茨城県防災情報ネットワークシステム操作研修がWebにて開催された。県防災情報ネットワークシステム端末機器の機能と操作について講義を行った。
- 参加者 村居常務ほか1名
- 10月24日 専門学校にて公募推薦入試を実施。歯科衛生士科、歯科技工士科の受験者に対し、同日行われた合否決定委員会にて合否を判定した。
- 10月27日 歯科技工士の人材確保対策事業 東京シンポジウムが日歯会館にて開催された。「歯科技工士の未来！再発見！～新潟宣言をうけて～」をテーマに基調講演が開催され、歯科技工士の現状と課題について協議が行われた。
- 出席者 大字副会長
- 10月31日 関東信越歯科医師会審査委員連絡協議会が日歯会館にて開催された。基調講演「令和6年度診療報酬改定について」の後に各都県からの16の提出議題について協議が行われた。
- 出席者 榊会長ほか23名
- 10月31日 第1回防災危機管理運営小委員会を開催。今年度の警察歯科協議会について、J D A T A

ドバンス研修会について協議を行った。

出席者 村居常務ほか12名

- 11月 2日 第45回全国歯科保健大会が熊本城ホールにて開催。～火の国・水の国くまもとから～ 人生100年時代 おいしく食べて豊かな人生 を大会テーマに、特別講演等が行われた。なお、席上、日歯会長表彰を鶴屋誠人氏（阿見町）が受けられた。

出席者 北見常務ほか1名

- 11月 6日 第6回ナイトオープンキャンパスを開催。ガイダンス、学校施設等を説明した。

参加者 2名

- 11月 7日 令和6年度学校保健・安全研究大会が宮崎市にて開催（～8日）。「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」～主体的に健康課題の解決に取り組み、学びを現在から未来につなげることができる子供の育成～をテーマに、全体会では表彰式、記念講演が開催され、翌日は10題の課題別研究協議会が行われた。

出席者 柴崎理事ほか1名

- 11月10日 第30回茨城県民歯科保健大会を開催。高齢者よい歯のコンクール、親と子のよい歯のコンクール、茨城県歯科保健賞および歯と口の健康に関するポスターコンクールの表彰を行った。

参加者 103名

- 11月12日 摂食嚥下研修会の第5回目を開催、「摂食嚥下機能障害への対応ー各障害における摂食指導の実際ー」について講義を行った。

受講者 68名

- 11月13日 第8回社会保険正副委員長会議を開催。第8回委員会、理事会、審査、新規個別指導、関東信越歯科医師会審査委員連絡協議会、令和7年度事業計画・予算案について協議を行った。

出席者 大野社会保険部長ほか3名

- 11月13日 都道府県専務理事連絡協議会が日歯会館にて開催され、時局問題について協議が行われた。

出席者 渡辺専務

- 11月13日 第8回社会保険委員会を開催。疑義、令和7年度事業計画及び予算案、保険請求のQ & Aについて協議を行った。

出席者 大野社会保険部長ほか18名

- 11月14日 第9回歯科助手講習会を開催。「社会保険の仕組み」、「歯科界の事情」、「産業廃棄物の処理」、「情報処理」、「個人情報保護」について講義を行った後、閉講式が行われた。

受講者 21名

- 11月14日 県リハビリテーションケア学会がWeb形式で開催され、第27回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会ほかについて協議が行われた。

出席者 鶴屋副会長

- 11月16日 第6回オープンキャンパスを開催。ガイダンス、学校施設説明、体験学習、入試説明等を



行った。

参加者 歯科衛生士科5名, 歯科技工士科2名

11月17日 関東信越歯科医療管理学会総会・学術大会を開催。「健康生活の向上に寄与する歯科医療」をテーマに教育講演、シンポジウムが行われた。

出席者 榊会長

11月20日 令和6年度茨城県学校保健会ほう賞選考委員会が茨城県メディカルセンターにて開催された。令和6年度茨城県学校保健会ほう賞受賞者の選考について協議を行った。

出席者 榊会長ほか1名

## 第83回日本公衆衛生学会に参加して

地域保健委員会 北見 英理

2024年10月29日（火）～10月31日（木）にかけて、北海道札幌市の札幌コンベンションセンターにおいて第83回日本公衆衛生学会総会が開催され、北見が参加しましたので報告いたします。

総会のメインテーマは、「ともにいきる 協創を拓く対話」でした。玉腰暁子学会長（北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学教室教授）は、『行政・大学等の研究・教育機関、保健・医療・介護・福祉や職域の現場実践者、企業等の公衆衛生関係者間はもちろん、公衆衛生関係者と一般市民、患者、民間団体など様々なステークホルダー間、さらには過去と現在、現在と未来等、あらゆる関係者間で互いの立場を理解、尊重し活動を深めていくためには、対話が基本となります。そして多様な人々が共に手を取り合って、すべての人がその人らしい健康を享受しながら生き生きと暮らせる社会を拓くことを目指し、本総会のメインテーマを「ともにいきる 協創を拓く対話」としました。』と述べられました。

地域保健委員会では、2009年の第68回から新型コロナウイルス感染流行期間を除き毎年本学会に参加しています。今回の学会は、東京歯科大学客員教授・上條英之先生の2023・2024年度の厚生労働科学研究費補助金・労働安全衛生総合研究事業「労働安全衛生法に基づく歯科医師による健康診断のより適切な実施に資する研究」に茨城県歯科医師会が協力しており、戒田敏之産業口腔保健統

括マネージャーと私・北見が共同演者になっていることから発表を行ってきました。

下記に抄録及びポスター内容を示します。

【演題】茨城県内の歯科特殊健診実施事業場における三管理の実施状況に関する調査

【演者】大山 篤<sup>1)</sup>、戒田 敏之<sup>2)</sup>、北見 英理<sup>2)</sup>、上條英之<sup>3)</sup>

1) (株) 神戸製鋼所東京本社  
健康管理センター

2) 茨城県歯科医師会

3) 東京歯科大学歯科社会保障学

### 【目的】

- ・労働安全衛生規則の改正により、2022年10月からは常時使用する労働者の数にかかわらず、歯やその支持組織に有害な業務があるすべての事業場は、歯科特殊健診の結果を労働基準監督署長へ報告することが義務づけられた。
- ・今後、常時使用する労働者数が50人未満の事業場を中心に歯科特殊健診を確実に実施する事業場の増加が予想され、新たな化学物質管理も始まることから、事業場における三管理（作業環境管理・作業管理・健康管理）の実施状況とその課題を把握することを本研究の目的とした。

【資料】（厚生労働省三重労働局より）

『労働安全衛生法に基づく歯科医師による健

## 康診断を実施しましょう』

歯等に有害な業務に従事する労働者に対して、労働安全衛生法第66条第3項に基づき、歯科医師による健康診断を実施し、使用する労働者の人数にかかわらず、その結果を所轄労働基準監督署長へ報告しなければなりません。

### ◆対象となる労働者

塩酸、硝酸、硫酸、亜硫酸、フッ化水素、黄りんその他歯又はその支持組織に有害な物のガス、蒸気又は粉じんを発散する場所における業務に常時従事する労働者（労働安全衛生法施行令第22条第3項、労働安全衛生規則第48条）

### ◆実施時期

対象業務に常時従事する労働者に対し、「雇入れの際」、「対象業務への配置替えの際」、「対象業務についた後6か月以内ごとに1回」（労働安全衛生規則第48条）

### ◆所轄労働基準監督署長への報告

令和4年10月1日以降に実施する歯科健診については、事業場の規模に関わらず報告が必要となります。

## 【調査内容の概要】

- 1) 事業所の状況（従業員数など）
- 2) 歯科特殊健診の実施方法、頻度、有所見者の対応、保健指導、事後措置
- 3) 作業環境管理の状況（作業環境測定状況、換気の方法）
- 4) 作業管理の状況（事業所での保護具等の使用状況等）
- 5) 安全衛生委員会の状況（メンバー構成、開催頻度）
- 6) その他

## 【方法】

- ・茨城県歯科医師会が歯科特殊健診を実施している茨城県内の事業場の協力を得て、主に有害物質を取り扱う事業場内で実施されている作業環境管理、作業管理、健康管理の状況について、13事業場を対象に質問紙調査を実施した。
- ・調査票は茨城県歯科医師会の理事・産業口腔保健統括マネージャー、日本労働衛生研究協議会の研究協力者を中心に内容を検討した。
- ・2023年11月から3月初旬にかけて、質問紙を各事業場に郵送し、回答はメール又は郵送により回収した。

## 【結果】

事業場の規模		中央値	最小値	最大値
従業員数（企業全体）		503	28	2800
勤務場所の従業員数		71	7	405
常勤労働者：正社員	男性	45	4	279
	女性	8	0	30
常勤労働者：契約社員	男性	3	0	12
	女性	0	0	15
常勤労働者：パートタイム労働者	男性	0	0	47
	女性	1	0	37
常勤労働者：臨時・日雇い労働者	男性	0	0	7
	女性	0	0	4

使用している化学物質について (n=13)	
	事業場数 (%)
化学物質を取り扱っていますか (複数回答)	
製造している	1 ( 7.7)
商品として譲渡・提供している	0 ( 0.0)
使用している	13 (100.0)
取り扱っていない	0 ( 0.0)
わからない	0 ( 0.0)
作業場で使用している化学物質 (複数回答)	
塩酸	10 ( 76.9)
硝酸	7 ( 53.8)
硫酸	9 ( 69.2)
亜硫酸	1 ( 7.7)
フッ化水素	4 ( 30.8)
黄りん	0 ( 0.0)
弱酸類	0 ( 0.0)
その他	11 ( 84.6)
該当作業場の管理区分	
第1管理区分	5 ( 38.5)
第1～第2管理区分	1 ( 7.7)
該当なし	4 ( 30.8)
無回答	3 ( 23.1)

管理者の選任等 (n=13)	
	事業場数 (%)
使用化学物質の管理者 (複数回答)	
衛生管理者	8 ( 61.5)
化学物質管理者	9 ( 69.2)
作業主任者	6 ( 46.2)
担当者	9 ( 69.2)
その他	2 ( 15.4)
いない	0 ( 0.0)
歯科医師による作業場の簡易調査	
行っている	7 ( 53.8)
保護具 (着用) 管理責任者の選任	
選任している	8 ( 61.5)

作業場の設備・リスク対策 (n=13)	
	事業場数 (%)
作業場で全体換気、局所排気装置を使用しているか	
使用していない	0 ( 0.0)
全体換気のみ	2 ( 15.4)
局所排気装置のみ	2 ( 15.4)
全体換気と局所排気装置の両方	9 ( 69.2)
作業場内でのリスク対策について行っているもの (複数回答)	
SDSの周知	13 (100.0)
GHS絵表示	8 ( 61.5)
作業場内掲示	9 ( 69.2)
作業者への安全衛生教育	13 (100.0)
その他	2 ( 15.4)
作業場近くに設置している緊急時に対処できる設備 (複数回答)	
緊急シャワー	5 ( 38.5)
洗目器	8 ( 61.5)
その他	6 ( 46.2)

保護具の使用状況 (n=13)	
	事業場数 (%)
防毒マスクを使用しているか	
使用している	7 ( 53.8)
作業中、保護具を使用しているか	
使用している	13 (100.0)
使用している保護具 (複数回答)	
マスク	8 ( 61.5)
簡易	3 ( 23.1)
防じん	5 ( 38.5)
防毒	5 ( 38.5)
マスクその他	0 ( 0.0)
メガネ	10 ( 76.9)
ゴーグル	6 ( 46.2)
保護メガネ	12 ( 92.3)
フェイスシールド	5 ( 38.5)
メガネその他	0 ( 0.0)
手袋	13 (100.0)
帽子	4 ( 30.8)
ヘルメット	6 ( 46.2)
エプロン	6 ( 46.2)
長靴	4 ( 30.8)
防護服	3 ( 23.1)
その他	1 ( 7.7)

表6. 作業場のリスクアセスメント (n=13)

	事業場数 (%)
作業状況により以下に該当する作業者が出たことがあるか (複数回答)	
腰痛	4 (30.8)
頸肩腕症候群	0 (0.0)
作業服の汚れがひどい者	3 (23.1)
有機溶剤や鉛作業場での生物学的モニタリングについて、分布1.2.3の作業者はいるか (n=13)	
該当する作業者がいる	1 (7.7)
該当する作業者がいない	6 (46.2)
生理学的モニタリングを実施している作業場はない	6 (46.2)
強酸・フッ化水素・塩素等でのヒヤリハット事例はあるか	
ある	3 (23.1)
化学物質についてリスクアセスメントを実施しているか	
実施している	13 (100.0)
実施していないが今後実施予定がある	0 (0.0)
実施しておらず、今後も実施予定はない	0 (0.0)

健康診断の結果に基づき、所見のあった労働者に対して何らかの措置を講じたか (複数回答) (n=12)

	事業所数 (%)
健康管理等について医師から意見を聞いた	7 (58.3)
健康管理等について歯科医師から意見を聞いた	3 (25.0)
地域産業保健センターの医師から意見を聞いた	0 (0.0)
健康の保持に努める必要がある労働者に保健指導を行った	6 (50.0)
就業場所の変更や作業転換の措置を行った	0 (0.0)
労働時間の短縮や時間外労働の制限を行った	0 (0.0)
作業環境管理・作業管理の見直しのため作業環境測定を行った	1 (8.3)
作業環境管理・作業管理の見直しのため、施設または設備の整備・回収を行った	0 (0.0)
その他の措置を講じた	0 (0.0)
特に措置を講じなかった	0 (0.0)
所見のあった労働者はいなかった	3 (25.0)

表7. 歯科関連の健診の実施状況 (n=13)

	事業場数 (%)
労働安全衛生法に基づく有言業務による歯科健診を実施しなければならない業務がありますか	
ある	13 (100.0)
有害な業務により歯科健診を実施している場合、事後の措置として、対象者に歯科口腔保健リーベスの提供を行っていますか (n=12)	
行っている	3 (25.0)
労働安全衛生法に基づく歯科健診とは別に、むし歯や歯周病に対する一般歯科健診を実施していますか	
実施していない	13 (100.0)
実施している	0 (0.0)
その他	0 (0.0)

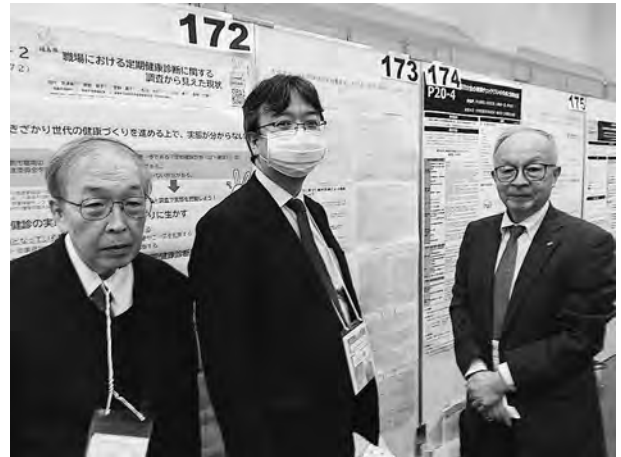
安全・衛生委員会の状況

	事業所数 (%)
委員会を設置していますか (n=13)	
設置している	11 (84.6)
委員会を開催した際の議題 (複数回答) (n=11)	
安全衛生教育の内容検討	9 (81.8)
労働災害の原因及び再発防止策	10 (90.9)
職場の安全衛生水準の向上、快適化推進	10 (90.9)
健康診断の実施	8 (72.7)
健康診断の結果への対応	8 (72.7)
過重労働による健康障害の防止	6 (54.5)
労働者の健康の保持増進を図るための必要な措置の計画作成	7 (63.6)
メンタルヘルス対策	8 (72.7)
労働者の健康情報の取扱	4 (36.4)
リスクアセスメントの実施結果に基づく措置	5 (45.5)
社内の相談体制の確保	5 (45.5)
その他	2 (18.2)
委員会や産業医との対話の中で、歯科医師による健康診断が課題や話題になったこと (n=11)	
ある	1 (9.1)
委員会に有言業務歯科健診を実施した歯科医師が参画したこと (n=1)	
ある	1 (9.1)

## 【まとめ】

- ・職域における新たな化学物質規制に関する準備が進んでおり、13事業場すべてが化学物質のリスクアセスメントを実施しており、作業場で全体換気や局所排気装置を全く使用していないという事業場はないという結果であった。
- ・2024年4月から選任が義務づけられている化学物質管理者は9事業場（69.2%）で、すでに選任されて化学物質の管理を行っていた。「SDSの周知」は13事業場すべてで行われており、「GHS絵表示」は実施していた8事業場のうち、6事業場で化学物質管理者が選任されていた。
- ・2024年4月から労働者に保護具を使用させるときの保護具着用管理責任者も8事業場（61.5%）で選任されて保護具の管理を行っており、使用している保護具については、手袋（13事業場、100%）、保護メガネ（12事業場、92.3%）が多かった。
- ・労働安全衛生法に基づく一般健康診断は13事業場でほぼすべての対象者が受診していた。特殊健康診断については一般健康診断と対象者数が一致していると回答した事業場が見られ、回答者が特殊健康診断の対象者を誤解している可能性があった。
- ・歯科関連の健診の実施状況に関しては、う蝕や歯周病などの一般の歯科健診は13事業場すべてで実施されていなかったのに対して、労働安全衛生法に基づく歯科特殊健診は13事業場すべてで実施されており、うち3事業場が事後措置として歯科保健指導を行っていると回答していた。
- ・本研究にご協力いただきました茨城県内の事業場の皆様に感謝申し上げます。

今年の学会では、昨年引き続き、日立歯科医師会の「歯と口の健康教室～喫煙が口腔に及ぼす影響～」のアンケート結果の続編【共同演者：福田雅臣先生（日本歯科大学生命歯学部衛生学講座）】も発表しました。発表が30日の午前と午後に分かれたため、大変慌ただしい学会でした。



共同演者の上條先生、大山先生と記念撮影



共同演者の福田先生と記念撮影

# 「第45回 全国歯科保健大会」報告

地域保健委員会 土屋 雄一

令和6年11月2日（土）、熊本県熊本市熊本城ホールにおいて、「～火の国・水の国くまもとから～ 人生100年時代 おいしく食べて 豊かな人生」のテーマのもと、第45回全国歯科保健大会が開催されました。本会からは、北見英理地域保健担当常務理事、地域保健委員会から土屋が出席いたしました。

はじめに、オープニングアトラクションとして、鎮西高校ダンス部による演技が行われました。7人から30人の4つのチームに分かれ、それぞれ熱く、クールに、セクシーにそして力強いキレキレのダンスで会場を盛り上げてくれました。

続いて、椿誠大会実行委員会副委員長（熊本県歯科医師会副会長）による開会宣言が行なわれました。



次に、伊藤明彦大会実行委員会委員長（熊本県歯科医師会会長）より「平均寿命が延び続ける“人生100年時代”において、食べることで歯と口腔の健康は非常に深い関係があります。しっかり食べて栄養を摂ることは生きる源であることに加え、味や風味、食感を楽しみ、会話を楽しみながら『おいしく食べる』ことは人生を豊かにしてくれます。私たち歯科医療従事者は、全ての年代の方々に対し、おいしく食べて、豊かに暮らすためのあらゆるサポートを行い、全身の健康の維持・向上のためには、口腔衛生と口腔機能の健康管理が欠かせないことを再認識してもらわなくてはなりません。その大切さを広く国民に発信していくことが本大会の目的です。“健康長寿は歯から”健口から健康となるよう、長寿社会における歯科の役割と国民との関わり方をわかりやすく発信し、皆様にとって、本大会が有意義かつ実りある機会になることを期待しております」との挨拶がありました。そして、福岡資麿厚生労働大臣（森光敬子厚生労働省医政局長が代理出席）、高橋英登日本歯科医師会会長、木村敬熊本県知事、大西一史熊本市長の挨拶が行われました。

歯科保健事業功労者表彰では、厚生労働大臣表

彰（多年にわたり歯科保健事業に携わり、地域における公衆衛生の向上のため著しい功績のあった個人および団体の表彰）個人58名と2団体、さらに今年度からは、就労世代への歯科口腔保健を推進する観点から、職域において歯科保健の啓発や歯科健診、そして歯科医療機関での定期的な受療の勧奨などの諸活動を継続的に行っている団体についても表彰を行うこととし6団体、日本歯科医師会会長表彰（地域社会の歯科保健衛生の普及向上、改善および意識高揚等、実践活動に著しい功績のあった者、きわめて困難な条件の下で献身精励、顕著な功績があった個人および団体の表彰）個人57名と1団体に対し、表彰が行われました。茨城県歯科医師会からは、鶴屋誠人先生（北見先生が代理受賞）が日本歯科医師会会長表彰を受けられました。誠にありがとうございました。



引き続き、次期開催県である島根県の安食治外健康福祉部長が挨拶を行いました。

舞台転換時のアトラクションとして熊本県・熊本市関連のPRビデオが上映された後、熊本市立必由館高校和太鼓部による、多彩な太鼓の音色と掛け合いの躍動感ある演奏が行われました。

次に、特別公演として、「医食同源 楽しい食生活」と題して、料理の鉄人で有名な陳建一氏の兄弟子で、公益社団法人日本中国料理協会顧問の斉藤隆士氏による講演が行われました。「健康な食事が健康の秘訣だと思います。まず歯が良いこと、健康な体づくりは、よく食べて、よく噛んで、よく出す。これが一番良いことです。美味しいも



のをたくさん食べて、楽しい食生活で過ごしていただきたいと思います」とのお話がありました。

特別講演の後に、斉藤氏と、熊本県ではお馴染みのフリーアナウンサーの本橋馨氏、村上美香氏、高橋英登日本歯科医師会会長、伊藤明彦熊本県歯科医師会会長の5人によるシンポジウムがあり、「食べることは生きること」「国民皆歯科健診」「豊かな人生」をキーワードにディスカッションが行われました。

最後に、「平均寿命が伸び続けて、人生100年時代が現実になりつつある現代において、健康で自立した生活を送れる期間、いわゆる健康寿命を延伸することが課題となっています。厚生労働省が国民の健康増進を目的に2000年に策定した『健康日本21』という施策では、健康を支える大きな柱として、『食事』『運動』『睡眠・休養』の3つが示されました。その中でも、特に食事については、歯と口腔の健康や機能と深い関係があります。しっかり食べて栄養を摂ることは生きる源であることに加え、味や風味、食感を楽しみ、会話を楽しみ、『おいしく食べる』ことは人生を豊かにしていきます。そのためには、口腔衛生と口腔機能の健康管理が欠かせないことを国民に再認識してもらいたいと考えます。本大会を機に、すべての年代を通して、おいしく食べて、豊かに暮らすためのあらゆるサポートをし、全身の健康の維持・向上のための歯科口腔保健施策を展開して、その大切さを広く発信し続けることをここに宣言



します。」などとする大会宣言（日本歯科医師会山本秀樹常務理事）を採択し、次回開催県である島根県歯科医師会内田朋良会長に大会旗を引き継ぎ、大林裕明大会実行委員会副委員長（熊本県歯科医師会副会長）による閉会宣言にて第45回全国歯科保健大会は閉会となりました。大会日の午前中、季節外れの台風による影響で交通機関に乱れがあり、他県から参加の方は開会時間に間に合わない方もいらっしゃいましたが大勢の方が参加され、無事大会は終了いたしました。



## 第30回茨城県民歯科保健大会報告

地域保健委員会 河野 雅人

令和6年11月10日（日）、心配されていた天気もくずれることなく曇り空のなか、茨城県歯科医師会館において「人生100年 笑顔と健口 未来にも」をメインテーマに、「8020・6424運動の一環として、生涯を通した歯と口腔の健康づくりの普及啓発を図るとともに、歯科保健の向上に功績のあった団体・個人や日頃から歯と口腔の健康づくりを実践され健康な歯を保っている方々を表彰することにより、歯科保健の一層の推進を図る」の趣旨のもと、第30回茨城県民歯科保健大会が開催されました。「フッ素うがいの歌」、「受賞者からのメッセージ」がオープニング映像として流れ、式典が開会しました。

開会の辞 大字副会長  
 主催者挨拶 茨城県保健医療部 丸山部長  
 主催者挨拶 榊会長  
 来賓祝辞 茨城県薬剤師会 樗木副会長



続いて各コンクールの表彰が行われました。受賞者は次のとおりです。（敬称略）

### 「8020高齢者よい歯のコンクール」

80歳で20本以上の歯を保とうという「8020」を達成され、なおかつ日頃から健康な生活習慣を実践されている方を表彰するものです。県内各地から応募いただいた170名の中から選ばれた方々です。

- 優 秀 佐藤 盛男 87才 東海村
- 〃 堀越 陽子 85才 日立市
- 〃 藤田 和美 83才 小美玉市
- 〃 浅野さわ子 82才 稲敷市
- 〃 寺門 達男 82才 常陸大宮市
- 〃 加納 楯夫 82才 古河市
- 〃 福島 光行 81才 古河市
- 〃 安西 征男 80才 水戸市
- シニア賞 矢代 秀子 90才 日立市
- 〃 富永 平 90才 日立市

歯科医師会長特別賞

- 島寄 重光 86才
- 島寄みち子 81才 結城市



「歯と口の健康に関するポスターコンクール」

歯と口の健康の大切さを普及するために県内の小中学校からポスターを募集し、優秀作品を表彰するものです。1189点の応募がありました。

(小学校の部)

知事賞

- 町島 優翔 鉾田市立大洋小学校 3年

教育長賞

- 宮川 航 北茨城市立精華小学校 3年

歯科医師会長賞

- 尾崎 智優 境町立猿島小学校 6年

優 秀

- 塚原 旭 桜川市立桃山学園 3年
- 水野 羽菜 常総市立岡田小学校 3年
- 金子 春道 つくばみらい市立伊奈小学校 3年
- 福島 葉月 境町立静小学校 3年
- 飯島 桜花 鉾田市立大洋小学校 6年

(中学校の部)

知事賞

- 岡 柚那 守谷市立御所ヶ丘中学校 3年

教育長賞

- 野澤 実優 茨城県立下館第一高等学校附属中学校 3年

歯科医師会長賞

- 福田 来南 茨城県立土浦第一高等学校附属中学校 1年

「親と子のよい歯のコンクール」

家族ぐるみの歯科保健の向上と歯と口腔の健康の保持増進を図ることを目的として、3～6歳のお子さんとその母親または父親とともによい歯を保たれている方々に対して表彰を行うものです。

- 最優秀 石塚知恵子・石塚 陽登・石塚 咲穂 古河市
- 優 秀 土屋美穂子・土屋 柎 神栖市
- 〃 時末 瞳・時末 すず・時末 菜那 かすみがうら市
- 〃 杉尾亮太郎・杉尾 茉里 土浦市
- 〃 鯉淵美紗子・鯉淵 佑惺 常陸太田市

## 優 秀

山口 光紀 筑西市立下館西中学校 1年  
 鈴木 日菜 つくばみらい市立伊奈中学校 1年  
 菅谷 真子 鉾田市立大洋中学校 1年



## 「茨城県歯科保健賞」

歯科保健の向上に尽くした功績に対し、賞を贈るものです。

学校法人関根学園 認定こども園 みどり幼稚園

## 感謝状

大洗町  
 三好 義章  
 木村 球一



受賞者全員への表彰状授与の後に、よい歯のコンクールを代表して親と子の最優秀の石塚様、ポスターコンクールを代表して小学校の部知事賞の町島様より謝辞が述べられました。



最後に、鶴屋副会長より閉会の辞が述べられ、第30回茨城県民歯科保健大会は閉会いたしました。

ロビーでは「よい歯のコンクール受賞者からのメッセージ」「ポスターコンクール作品」が展示されました。自身の写真や作品の前での写真撮影、「みがこーモン」との撮影を希望される方がたくさん見受けられました。

受賞された方々の笑顔はもちろん、ご家族や知人と喜びを分かち合う姿がとても印象的で感動しました。

大会の運営に協力していただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。





## 【歯科衛生士科秋のスポーツ大会】

10月25日（金）に内原ヘルスパーク（水戸市）において、歯科衛生士科の秋のスポーツ大会が実施されました。

2年生が主体となり企画・準備・運営を行い、1年生から3年生の縦割り班による6チーム（赤・青・緑・黄・ピンク・紫）に分かれドッジボール大会を行いました。

学年の垣根を越えた各チームが勝利を目指して戦いました。全力でボールから逃げたり、カーブの効いたボールを投げたりと夢中になり熱く激しい連続したプレーがみられました。試合の合間には他のチームを応援したり、仲間同士写真を撮ったりと等身大の若者の姿がみられました。

専任教員も各チームのメンバーとして学生に負けないプレーをしたり応援に加わったりと学生と一緒に楽しむことが出来ました。

トーナメント戦で行われた試合はピンクチームが優勝しました。加えて学年対抗も行われ、元気な笑い声と歓声に包まれた盛り上がりのある大会となりました。

学生たちはそれぞれ1年生は講義・学内実習、2年生は臨地実習、3年生は国家試験対策と勉学に励んでいる最中ですが、他学年ともコミュニケーションを図り、ひと時の息抜きになったかと思います。

今後は気持ちを切りかえて各学年とも目標に向かって進んで欲しいと思います。

（文責 舟生）



（3年生）



（2年生）



（1年生）



茨城・県西歯科医師会主催講演会

## 「地球のステージ： 不安な時代に心の健康を考える」開催

(社)茨城・県西歯科医師会 地域保健委員会 城戸 衛

11月17日（日）常総市生涯学習センター・多目的ホールにて心療内科医でありNPO法人「地球のステージ」代表の桑山紀彦氏を講師として招き、県西歯科医師会主催講演会「地球のステージ～不安な時代に心の健康を考える～」が開催されました。

令和元年に同講演会シリーズがスタートし、翌年はコロナ禍の影響での中止を挟みその後は各地域で開催されて好評のうちに第5回のファイナル講演となりました。

事前申し込み、当日希望者合わせて124名の参加があり盛況となりました。



### 地球のステージ

～不安な時代に心の健康を考える～

**桑山 紀彦**  
心療内科医、NPO法人「地球のステージ」代表によるツイ/音楽・大西面映像・語りを組み合わせた新しいタイプのステージです。  
桑山氏はこれまで60を超える国・地域を歩き、紛争地や被災地での心のケアを中心に国際医療支援活動を展開してきました。  
国際紛争・自然災害・ITなど不安の絶えぬ時代に、心の回復のためにできることを考える講演会です。

歯科医師会主催・講演会のお知らせ

(社)茨城・県西歯科医師会 会長 白澤 光二

---

**日時** 令和6年11月17日(日)  
14:00 開演(13:30 開場)～16:10 終了予定  
桑山氏の講演に先立ち、県西歯科医師会・森田 栄による歯科講話(30分)がございます。

**会場** 常総市生涯学習センター・多目的ホール  
常総市水海道天沼町4684番地 駐車場・参加者無料(数に限りがございます)

**参加費** 無料 事前申し込みが必要(先着200名)

**申込み・問合せ** 電話もしくは右の二次元コード(お申込みフォーム)  
常総市役所 保健推進課 ☎0297-23-3111  
(平日8時30分～17時15分)

【主催】茨城・県西歯科医師会  
【共催】常総市、茨城県歯科医師会、常総市歯科医師会  
【後援】(一社)茨城県さぬき歯会、常総薬剤師会

白澤会長の挨拶、神達常総市長の挨拶に続き第一部は県西歯科医師会・森田栄先生による「歯周病のはなし」と題し、スライド写真や図を交えわかりやすく感染経路や進行のシステムを解説して、特に糖尿病と歯周病との相互関係、喫煙との関係、歯周病は口臭の原因であることを参加者に説きブラッシング、特に歯間ブラシ等の必要性とスクーリングの必要性を数字で説明して定期健診の意義も述べていました。

休憩をはさみ桑山氏による「地球のステージ」講演は過去4回の講演同様世界で起きている紛争、そこで起きている事と一般市民の実際の被害と子供たちの様子、NPO法人「地球のステージ」の活動を講話、映像と桑山氏の歌で伝えるという講演形式で進みました。

東ティモールでのアメリカ人医師と「地球のステージ」の活動は「黙って見ていられない人」という実際に行動する人々の活動を紹介され私たちの日々の過ごし方や考え方のあり方を突きつけられた思いでした。

イスラエル・パレスチナ紛争で被害を受ける一般市民の様子を命がけて世界に発信する桑山氏が子供の時から知っていて、今は「地球のステージ」でも活動する現地ジャーナリストが伝える画像は、テレビやネットの一般的ニュース映像とは違い厳しい現実を突きつけられるものでした。

またウクライナの美しい故郷から追われた人々、特に子供たちやお年寄りが心に受けた傷は当事者でなければわからないかも知れませんが、震災や洪水等被災したことがある我々ももう一度考え、そして見つめ直す機会になったと思います。

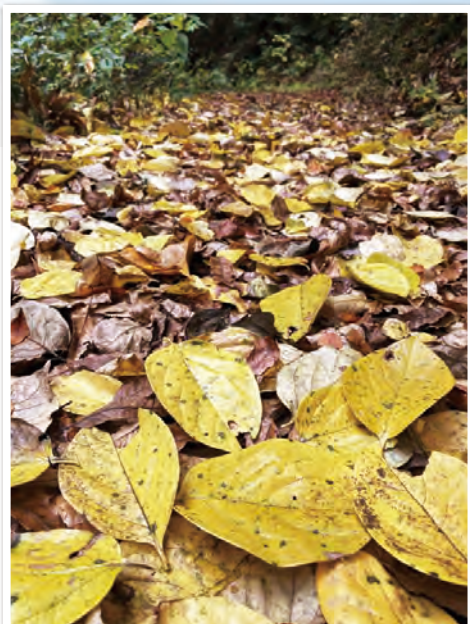
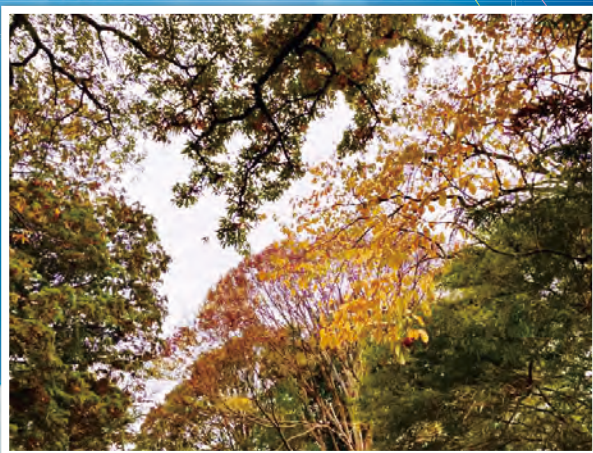
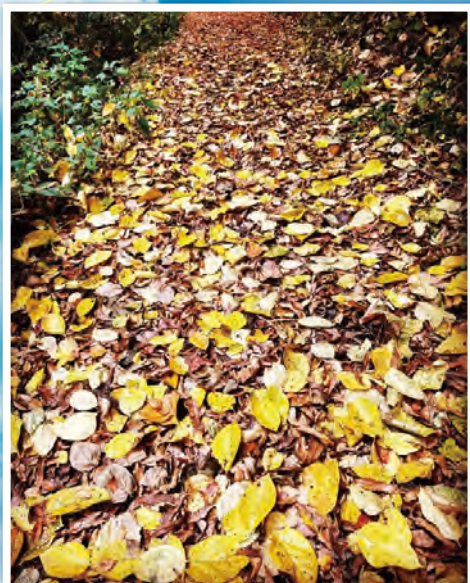
今回でこの県西歯科医師会「地球のステージ」講演会シリーズはひとまず終了となりますが、茨城県内でも学校や各地域での講演が多いとのことでした。

またホームページやYouTubeなどで活動を垣間見ることができるそうです。



# みんなの写真館

Photo  
Gallery



気温が下り始めると、銀杏の葉はカロテノイド濃度の比率が高くなるため黄色一色となります。また、柿の葉はぼつぼつと緑を取り残したまま黄色や朱色を呈し、秋山そのものの綾錦が一枚の葉に映り込んだ様子となり、その風情が心地よいものです。

(社) 珂北歯科医師会 阿部 英一

## みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できません。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員 1,093名  
2種会員 114名  
終身会員 153名  
準会員 13名  
合計 1,373名

## 会員数

令和6年10月31日現在

地 区	会員数 (前月比)	
日 立	120	+1
珂 北	144	
水 戸	157	
東西茨城	72	
鹿 行	105	
土浦石岡	179	±1
つ く ば	151	±1
県 南	180	
県 西	152	
西 南	100	+1
準 会 員	13	
計	1,373	+2



**Ibaraki Dental Association**

公益社団法人 茨城県歯科医師会

## 茨 歯 会 報

発行日 令和6年12月  
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地の1  
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075  
ホームページ <https://www.ibasikai.or.jp/>  
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進  
編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。